

## 平成31年・令和元年（2019年）の安達太良山の火山活動

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

地震活動は概ね低調で、噴気活動及び地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

### ○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2019年の発表履歴

2019年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

### ○ 2019年の活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1～5、図6-①⑥）

若宮監視カメラによる観測では、沼ノ平火口の噴気の高さは20m以下で、噴気活動は低調に経過しました。鉄山監視カメラによる観測では、沼ノ平火口で噴気は認められず、地熱域に特段の変化はみられませんでした。

2月に陸上自衛隊東北方面隊の協力により実施した上空からの観測では、沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化はなく、噴気は認められませんでした。

9月に実施した現地調査では、沼ノ平火口の地熱域を引き続き確認しました。

#### ・地震や微動の発生状況（図6-②～⑤⑦、図7、図8）

5月上旬から中旬にかけて安達太良山山頂の南南西約3kmを震源とする火山性地震がわずかに増加しましたが、その他の期間は、火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図9、図11）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



図 1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況 (10月16日)

- ・若宮監視カメラ (沼ノ平火口の西北西約 8 km) の映像です。
- ・沼ノ平火口からの噴気の高さは 20m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

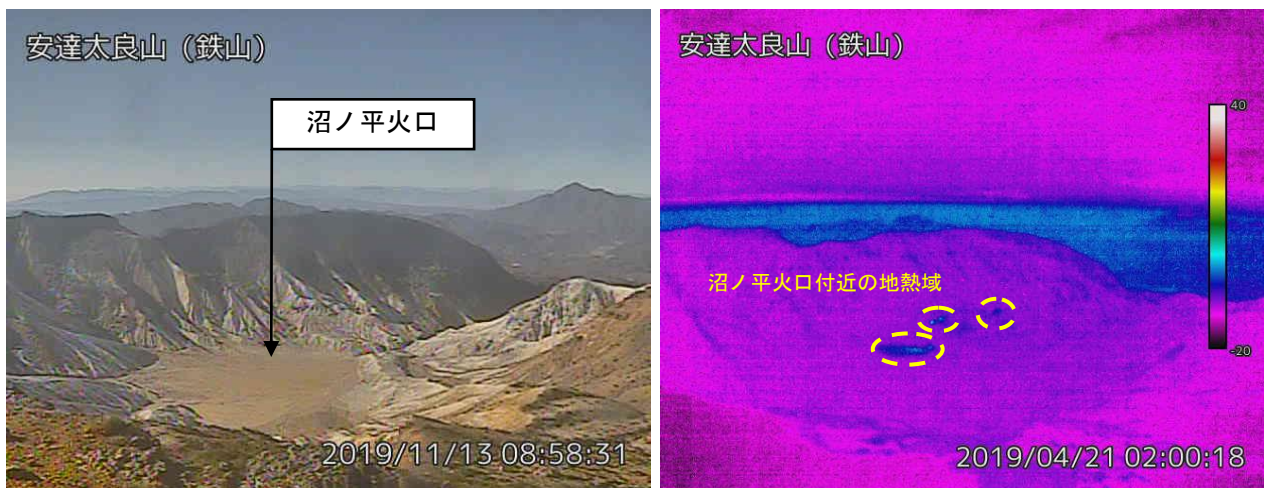


図 2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況と地表面温度分布 (左: 11月13日、右: 4月21日)

- ・鉄山監視カメラ (沼ノ平火口の北東約 700m) の映像です。
- ・沼ノ平火口付近の地熱域 (黄破線) に特段の変化は認められませんでした。

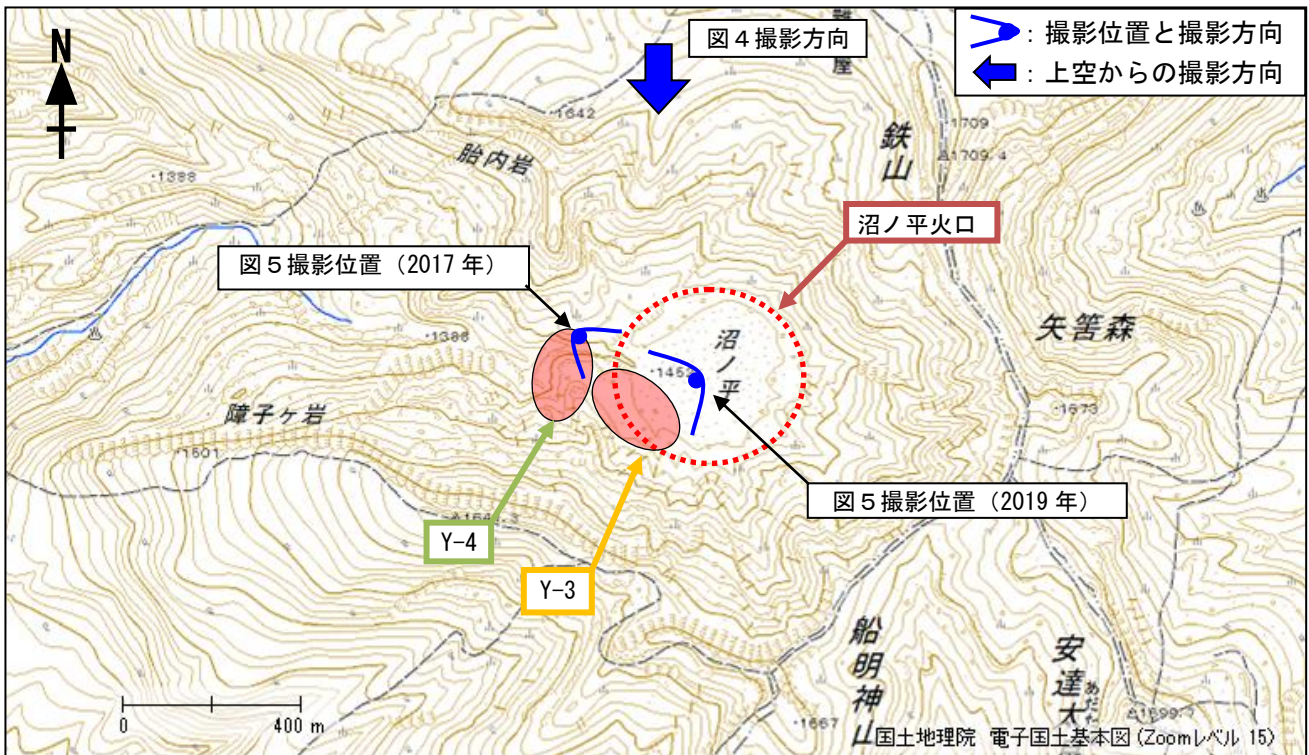


図3 安達太良山 地熱域の分布及び写真と地表面温度分布撮影位置、撮影方向

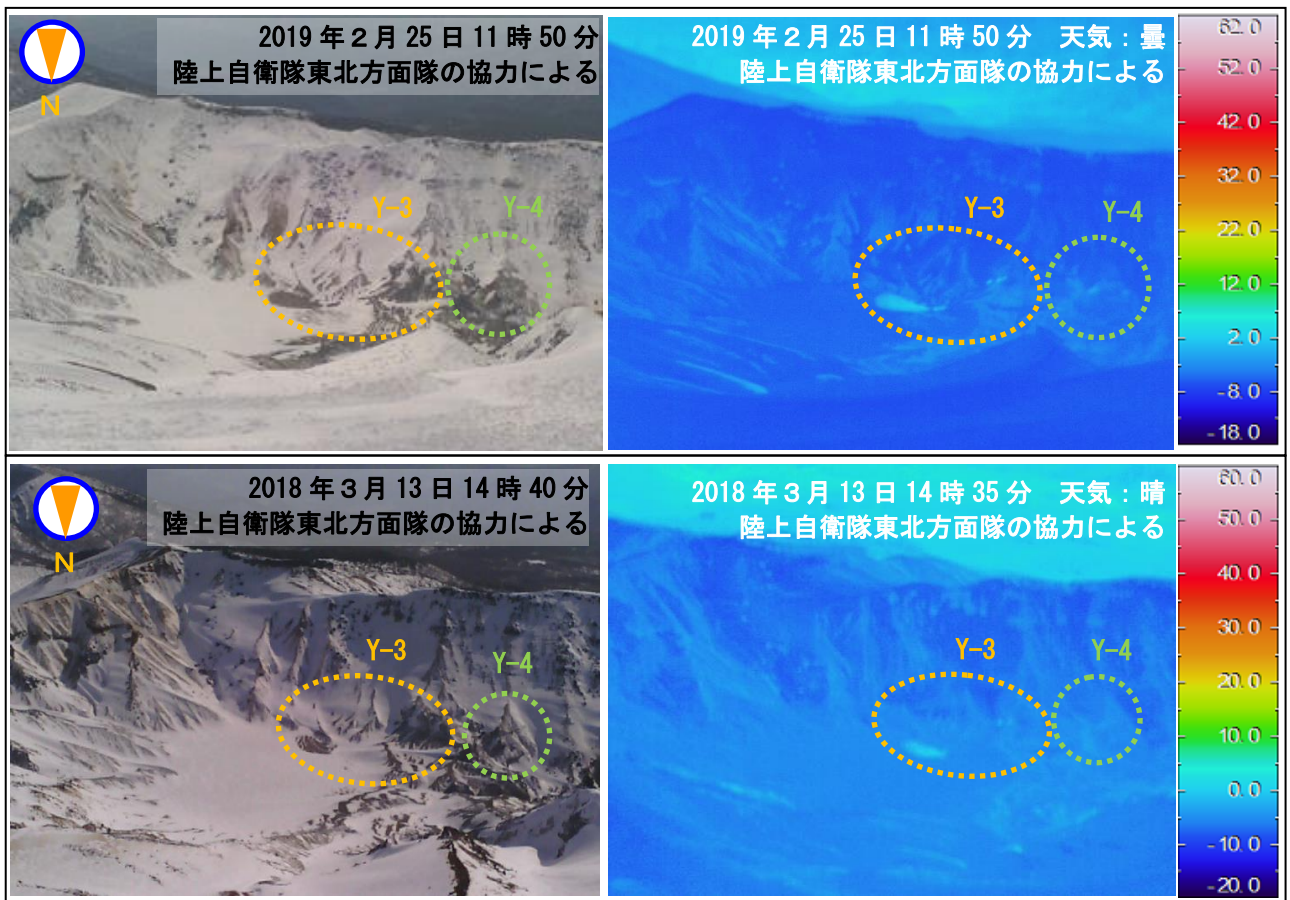


図4 安達太良山 上空から撮影した沼ノ平火口付近(Y-3、4)の状況と地表面温度分布

・地熱域（橙破線、緑破線）を引き続き確認しました。  
 ※地熱域以外の温度の高い部分は日射による影響と推定されます。

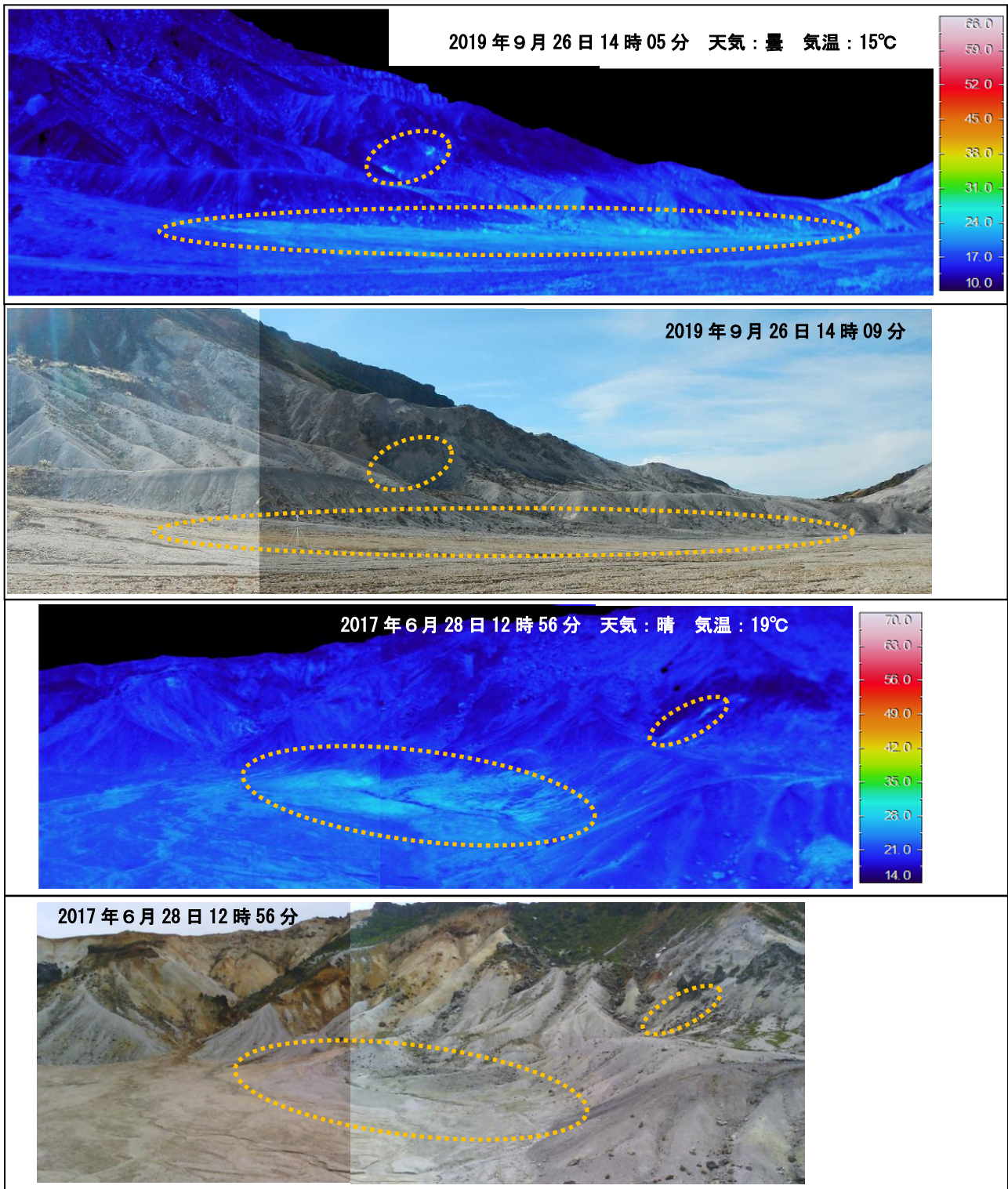


図5 安達太良山 沼ノ平火口付近(Y-3)の状況と地表面温度分布  
・地熱域（橙破線）を引き続き確認しました。

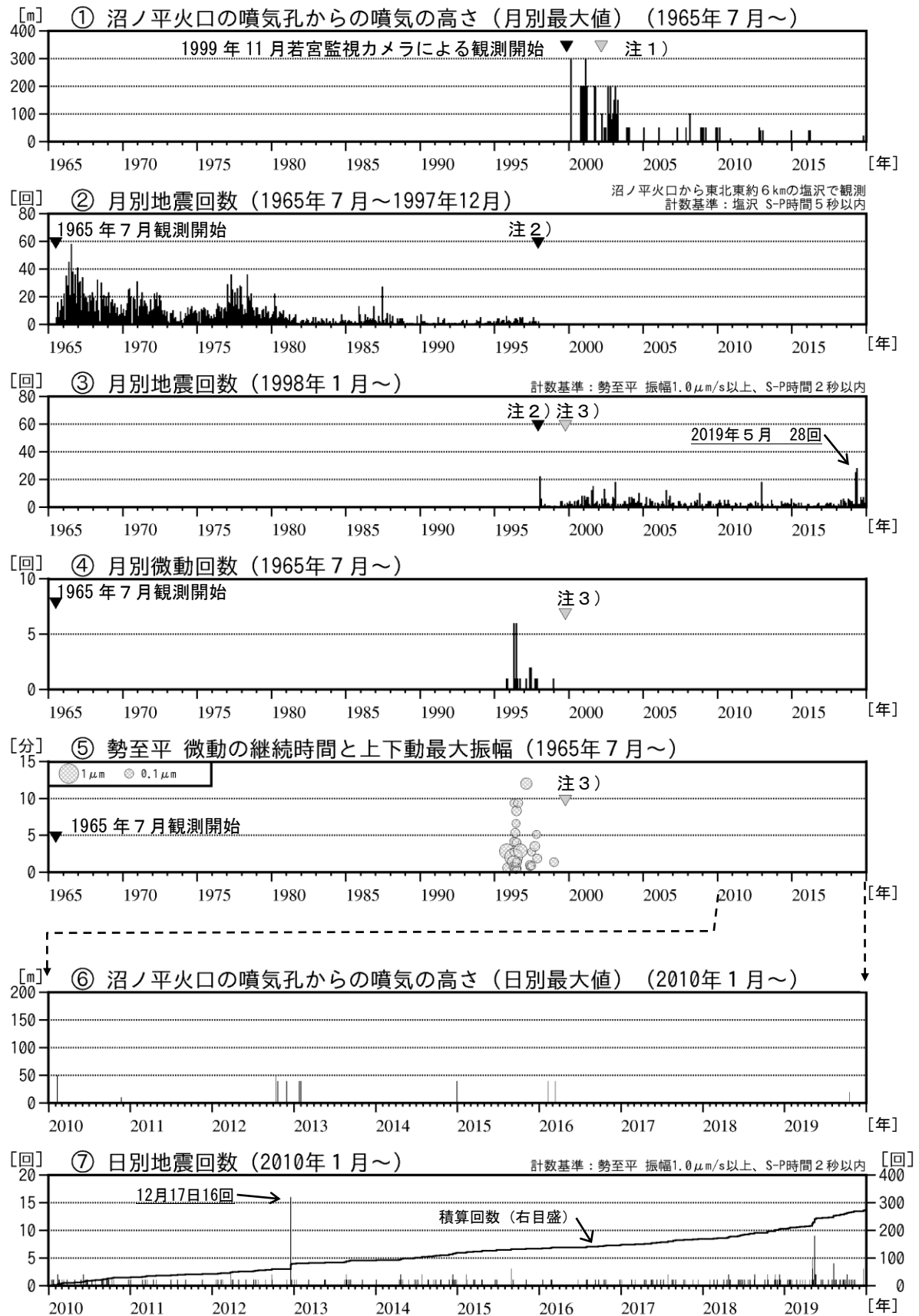


図6 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2019年12月）

注1) 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。

・②～⑤計数に使用した観測点は次のとおりです（角カッコ内は地震回数の計数基準）。

観測開始 1965年7月～塩沢観測点 [S-P時間5.0秒以内]

注2) 1998年1月～塩沢観測点 [S-P時間2.0秒以内]

注3) 1999年10月～勢至平観測点 [振幅 $1.0\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2.0秒以内]

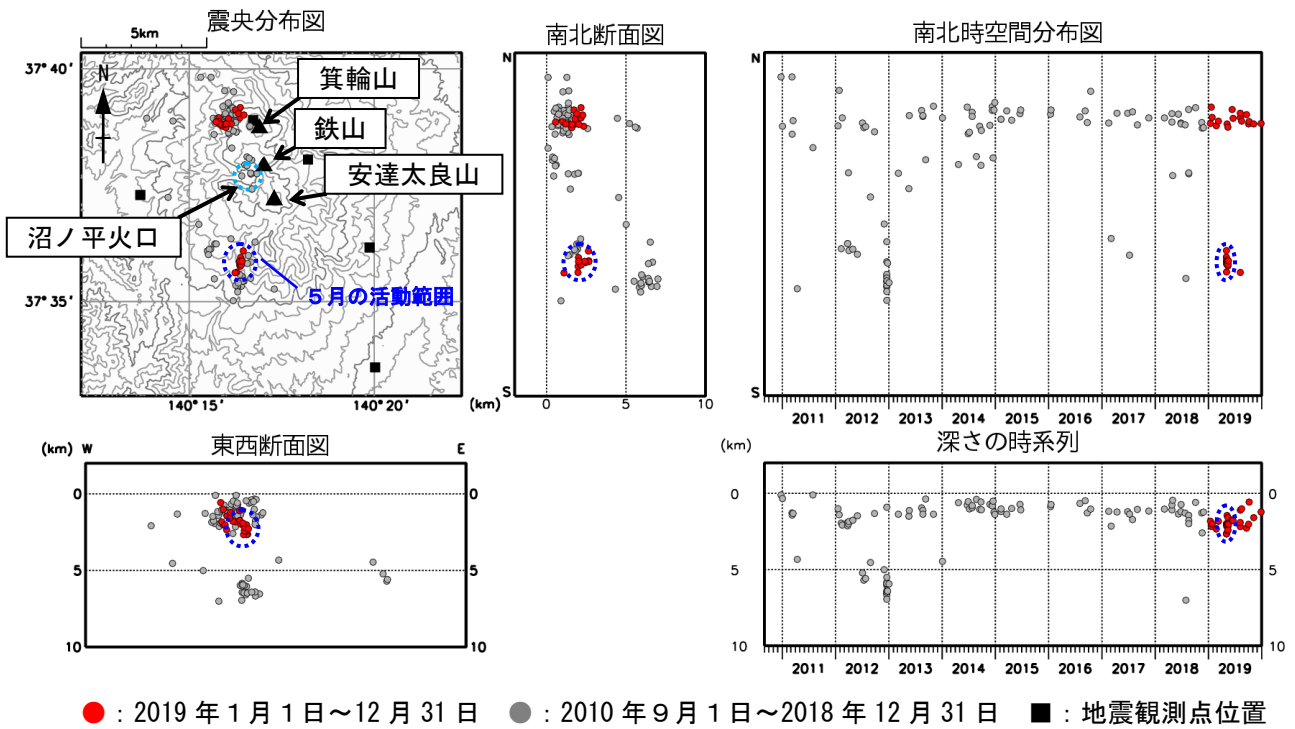


図 7 安達太良山 地震活動 (2010 年 9 月～2019 年 12 月)

・ 5 月上旬から中旬にかけて安達太良山山頂の南南西約 3 km を震源とする火山性地震がわずかに増加しました (青破線)。この領域では 2012 年 12 月にも火山性地震が一時的に増加しています。

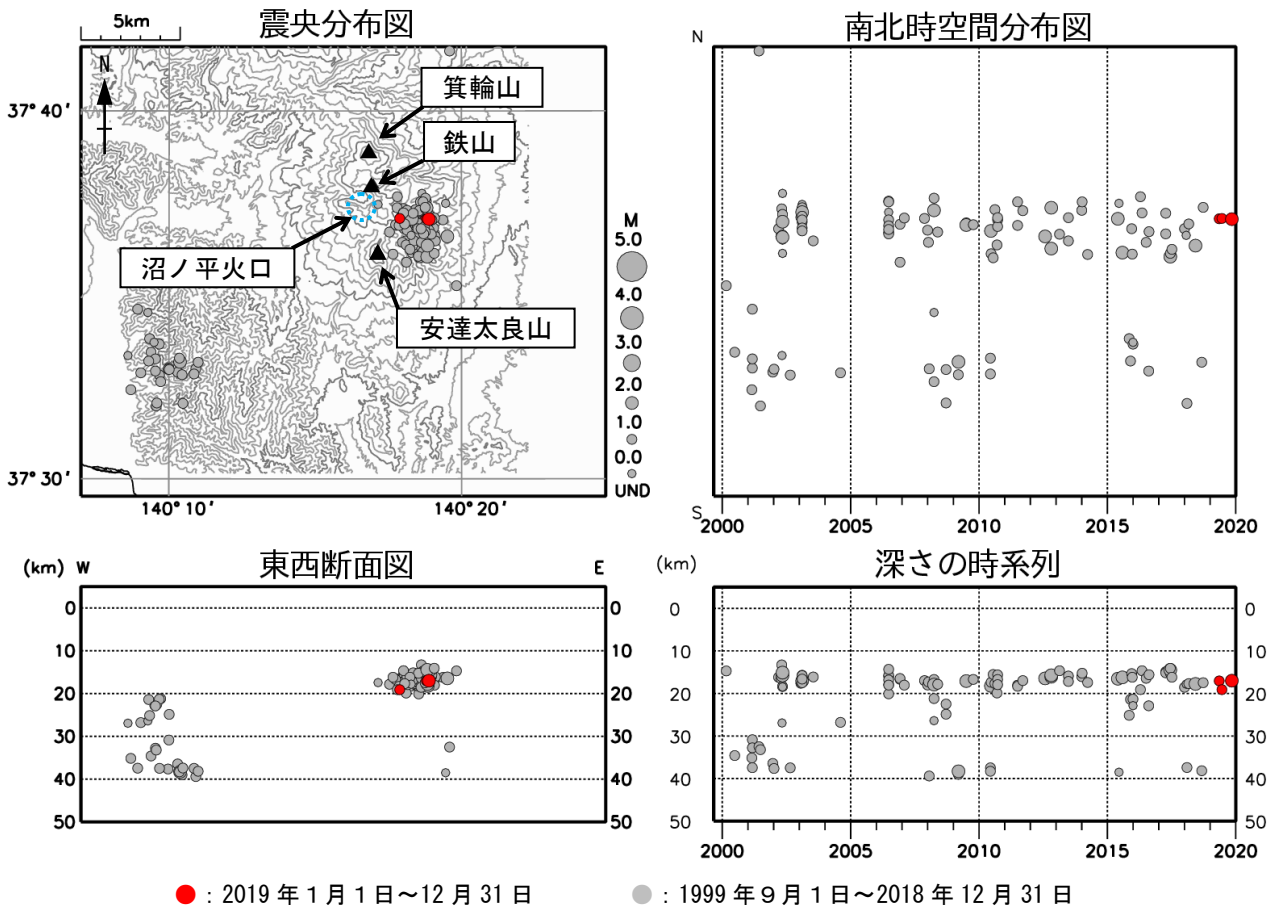


図 8 安達太良山 広域地震観測網による深部低周波地震活動 (1999 年 9 月～2019 年 12 月)

注) 2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。

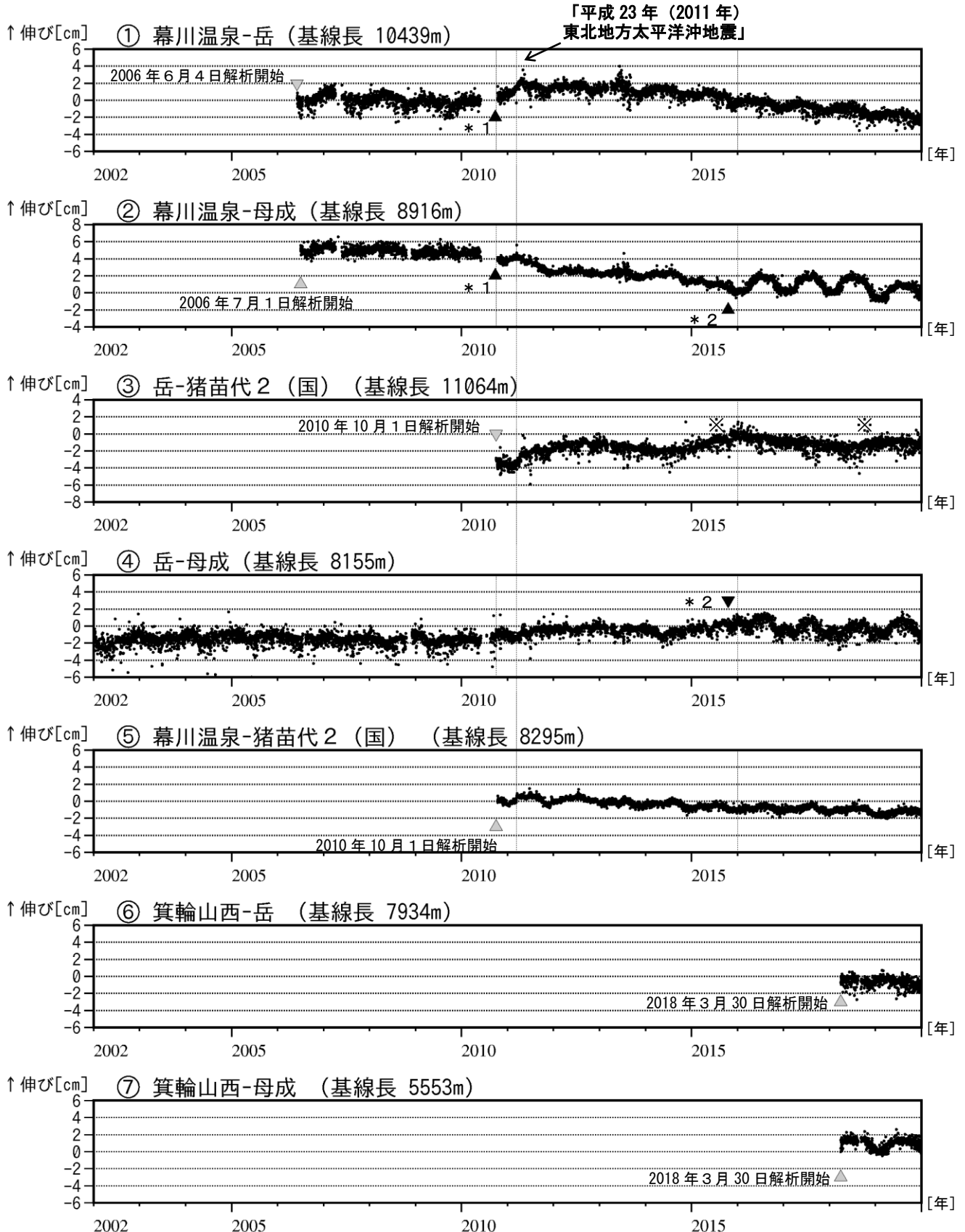


図 9 安達太良山 GNSS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2019 年 12 月)

- ・ 2010 年 10 月及び 2016 年 1 月に、解析方法を変更しています。
- ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～⑦は図 11 の GNSS 基線①～⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。
- ・ \* 1 : 幕川温泉観測点の機器更新を行いました。 \* 2 : 母成観測点の機器更新及び移設を行いました。
- ※吾妻山の地殻変動に伴う変化がみえていた可能性があります。

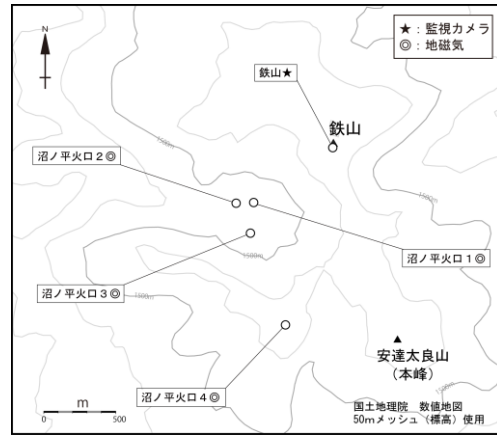
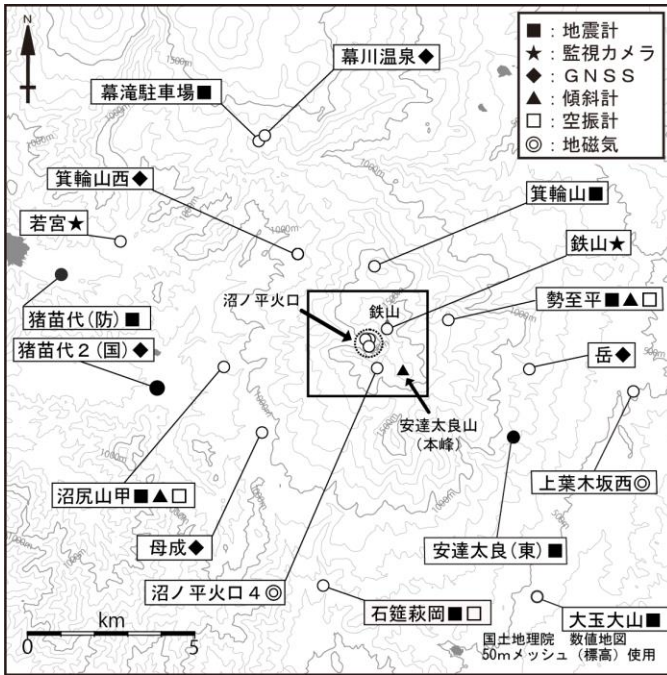


図 10 安達太良山 観測点配置図

白丸 (○) は気象庁、黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

(国) : 国土地理院 (東) : 東北大学 (防) : 防災科学技術研究所

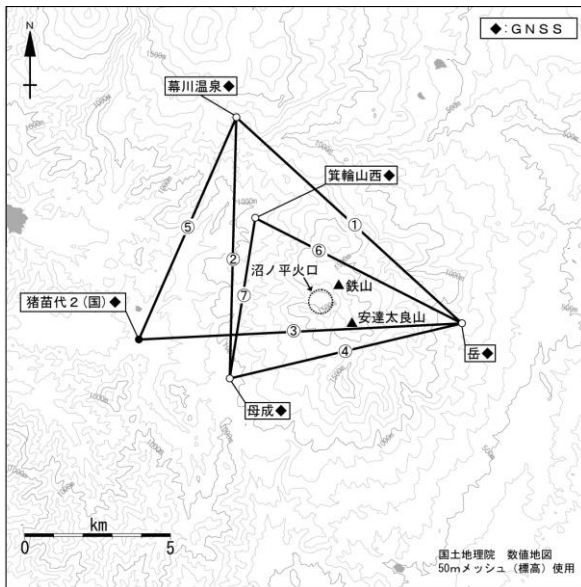


図 11 安達太良山 GNSS 観測基線図

白丸 (○) は気象庁、黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院

表 1 安達太良山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	-1	1999.10.22	
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2010.09.01	
	箕輪山	37° 38.90'	140° 16.73'	1675	-2	2016.12.01	広帯域地震計
	石筵萩岡	37° 33.77'	140° 15.72'	638	-1	2017.12.04	
	幕滝駐車場	37° 41.03'	140° 14.53'	1295	-1	2012.12.01	
	大玉大山	37° 33.59'	140° 20.02'	477		2016.10.12	
	安達太良(東)	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	5	1999.10.22	
空振計	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	3	2010.09.01	
	石筵萩岡	37° 33.77'	140° 15.72'	638	2	2017.12.04	
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2011.04.01	
傾斜計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	-15	2016.12.01	
	母成	37° 36.24'	140° 14.46'	960	6	2001.11.01	
GNSS	岳	37° 37.25'	140° 19.85'	900	8	2001.11.01	
	幕川温泉	37° 41.05'	140° 14.61'	1291	9	2001.11.01	
	箕輪山西	37° 39.20'	140° 15.04'	1042	6	2018.03.30	
監視カメラ	若宮	37° 39.26'	140° 11.56'	819	5	1999.11.01	
	鉄山	37° 37.94'	140° 16.98'	1707	3	2016.12.01	可視及び熱映像
地磁気	沼ノ平火口1	37° 37.73'	140° 16.60'	1454	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口2	37° 37.73'	140° 16.52'	1465	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口3	37° 37.61'	140° 16.59'	1459	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口4	37° 37.27'	140° 16.76'	1666	2	2018.06.29	
	上葉木坂西	37° 36.89'	140° 21.92'	547	2	2018.06.29	